

沖縄

日頃週末の休みも関係なく仕事をして、家族サービスをしていません。家族に申し訳けないので8月11日～16日のお盆休みを利用して沖縄本島の恩納村のルネッサンスリゾートホテルに出かけました。小生の妻は中学から短大まで同級生の友人が今年の年初に沖縄に引っ越したので、この機会に会いに行きました。小生と次男は2日間で合計5ダイブのスキューバダイビングを楽しむことができました。

8月11日午前11時30分過ぎに那覇空港からタクシーでレンタカー会社に向かいました。道中運転手の方に空港周辺の混雑と外国人の観光客の事をお聞きすると、空港周辺の混雑はお盆休みになって一段とひどくなっていますと仰っていました。又外国人観光客も凄く増えているとも仰っていました。大阪も戎橋から心斎橋、水掛不動周辺は特に夕方から外国人観光客で、食べ物屋さん一杯ですが、沖縄も大阪と同じかそれ以上のインバウンド効果が出ている様に思えました。もうインバウンド無しには、やっていけない日本経済になっているなーと実感しました。

沖縄市内の国際通り周辺は、おへそを出した肩ひものないカジュアルな服を着た3人くらいのグループで闊歩している女性を大勢見かけました。会話で韓国人と解りました。韓国のバッシングはマスコミで毎日の様に報道されていますが、良く考えて見ると日本より緯度の高い所に位置している韓国の地形から判断すると、自国の近辺で夏を謳歌できる外国は日本が一番だと韓国人は考えると思います。韓国人観光客はまだ多く日本にやってくるだろうと思います。そして彼ら彼女らが帰国して、本当の日本人の優しさ等を大勢の方々に伝えてくれたら、近い将来もっと日本と仲良しになってくれるのではないかと思います。

今回小生が世話になりましたダイビングセンターにも、韓国人カップルがシュノーケリングをしたいと言って来ました。あいにくスキューバダイビング専門のショップでしたので、近辺のシュノーケリングもしているショップを紹介したら、そのショップの方と韓国語で予約の電話をしているのを横で見えていたので、アジア圏のインバウンドの方達も、買い物から体験型に移行しているのを目の前で見えて来ました。又そのカップルが特に女性が強かったのかは知りませんが、韓国の女性は日本人女性より凄く行動的に小生の目に映りました。フィアンセが横にいるのですが、夕方のシュノーケリングの予約を相談せずにとっていたのは強烈に私の臉に刻まれました。『日本人の男性の若者は草食系男子が多いと言われていますが、お隣の国も同じように感じましたので、世界的に肉食系男子が減っているのは現代社会の傾向だと感じました。』

ところでスキューバダイビングのライセンスを去年取得した次男とのダイビングは昨年10月以来だったので少しスキルが不安でしたが、全く心配なく2日間で合計5ダイブを楽しんで来ました。世界的な温暖化で海水温が上昇しています。その為に珊瑚礁が世界的に傷ついています。沖縄周辺も70%以上の珊瑚礁が傷ついています。ごく一部に綺麗なテーブル珊瑚が一面を覆うポイントもありますが、今以上外国人が押し寄せたら、残された美しい珊瑚礁が破壊されることが危惧されますので、近い将来色んな規制処置が実行されるかも知れないと思います。



小生の宿泊したホテルは少し外国人観光客も宿泊していましたが、宿泊代が高い部類のホテルにランクされているので100%近く日本人が宿泊していました。

このホテルを利用したのは過去10年で4回ありますが、毎年大きく変化しているのが解ります。

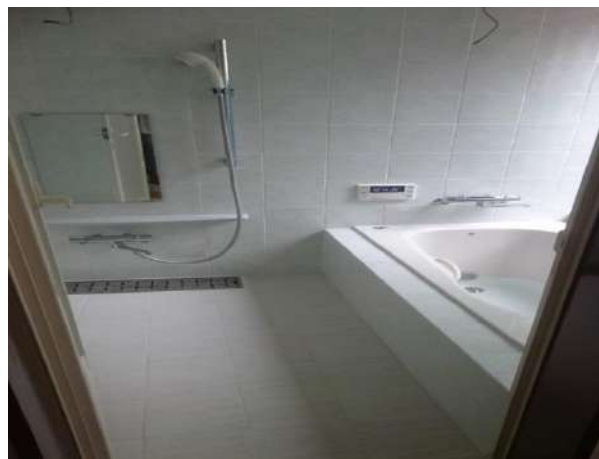
ちなみに沖縄の嘉手納基地の近くの道の駅にも出かけたのですが、北朝鮮との緊張した感じは有りませんでした。

リフォーム

小生の住いは昭和62年に亡き父が建ててくれたツーバイフォー工法の家です。外壁の塗り替え、ガレージのシャッターの取替え、キッチンの新調等の工事をここ10年間少しずつしています。

今回は小生の妻待望のお風呂の大規模なリニューアル工事です。8月のお盆明けの8月17日～29日の日程で施工して頂きました。少し余談の話ですが、小生の次男は現在高校二年生です。来年は受験の年になるので、夏休みを利用して施工して頂きました。

服部新聞で過去にも取上げましたが小生の住いは現在ハウジング事業を取りやめている大手建材メーカーの住まいです。過去にもリフォーム時に大規模な手抜き工事が暴露していました。8年前に泥棒に入れられ二重サッシの窓ガラスを全部交換した時、サッシの下に枠が入っていない場所がありました。今回も大規模な手抜きがありました。



窓枠の下が木で作られていました、その木が腐り、もう少し時間が経てば窓枠が落下するかもしれないと言っていました。ぎりぎり事故に逢わず工事が間に合ったと思います。

工事代金の内訳を下記に書きます。金額は正確に名記しません。

1、仮設工事	円	2、解体工事	円
3、木工事	円	4、左官工事	円
5、建具工事	円	6、タイル工事	円
7、内装工事	円	8、機器工事	円
9、電気工事	円	10、給排水工事	円
11、ガス工事	円	12、諸経費	円
合計	円	消費税	円
		総合計	大よそ 3,000,000 円

この工事に関係していただいた業者の方々のジャンルを整理して下記に書きます。

1、工務店さん 2、大工 3、解体 4、左官 5、タイル 6、電気 7、クロス 8、水道 9、防水 10、ガス

最後にこの工事に携わっていただいた関係者の方に感謝申し上げます。

サンダー仕上げとラフ材

アメリカ広葉樹原木は日本国内で製材する場合、ブラックウォールナット及びブラックチェリー材の管理は国内産広葉樹と同等で良いので余り気を使わないで扱えますがハードメープル・バースウッド・ホワイトオーク材は特に取り扱いが難しい材です。今回はハードメープル材を取上げます。

何故日本国内で多くのハードメープル原木が製材されていないのでしょうか。皆様は不思議に思いませんか。それはステッカーマーク（写真→）と呼ばれる栈の後が日本国内で製材する時発生するのです。その欠点は削っても消えません。中まで入っています。その欠点を出ないように製材する技術を服部商店は生みだしましたが、それでも見た目は現地挽きのほうが綺麗に見えます。



ハードメープル材の優良な産地はミシガン州かウィスコンシン州です。その産地の材を製材し出荷前に横サンダーを掛けているシッパーは多く有りません。服部商店が取り扱うアメリカ現地シッパーは横サンダーを施して世界中に輸出しています。（写真→）



この設備を持っているシッパーはアメリカでも少しずつ増えていますが、原木の産地も一流、製材技術も一流と言う二つの要件を兼ね備えているシッパーは多く有りません。

ハードメープルの製材品だけを取り扱うだけなら少しの知識で取り扱えると思います。しかし柂目材が必要だとか8ミリの板目の乾燥した巾300ミリの板がどうしても必要だと言われるお客様が日本中にいらっしゃる事を以前から承知していましたので、原木の製材が欠かせません。しかし服部商店には横サンダーの設備は導入出来ません。下の写真は弊社の製材した製品です。（削ってみました）



多少見た目が落ちて削って見たら服部商店が扱っているハードメープル材の品質は世界一のアメリカシッパーの材に負けない白さをしています。この白さはミシガン州かウィスコンシン州産のハードメープルでのみ実現できます。以前バージニア州産のハードメープルを製材しましたが、色がくすんで乾燥しました。

ホワイトオーク 3大産地・展示即売会

9月23日と24日の2日間の期間で服部商店が現地で直接買いつけてきましたウイスコンシン州産・オハイオ産・バージニア産のホワイトオーク材とウイスコンシン州産・ペンシルバニア産・ブラックチェリー材二つの比較を見て頂きたいと思います。

檜及びオーク材の供給は、ロシア産ナラ原木がワシントン条約に抵触して輸入が難しくなっている事や日本の森林で優良な檜原木の供給が難しい等、アメリカ材に頼らざるを得ない状況だと考えています。現在輸入されているホワイトオーク材は厳密に言えば20種類以上有るとの事です。その中で3つの産地の材をアメリカから輸入し、皆様に見て頂き、服部商店の話を聞いていただいたらと思い今回の企画に至りました。

23日と24日の午前10時から時間を15分程度取ってインタビュー形式のトーク『司会は服部商店の女性スタッフ、インタビューを受けるのは、小生と工場長の2人』もしてみたいと考えています。

3つの産地の材を同時に並べて見て頂くと言う企画は、日本中の取り扱い業者で行なった前例は無いと思います。とんでもない企画なので、凄くたどたどしくなる可能性が有ると思いますので、その点をご容赦下さい。

同時にアメリカンブラックチェリーの展示会も開催します。最近のトレンドは、日本だけでなく世界的にブラックウォールナットが流行していますが、これからもずっと続く事は少ないと思います。過去に何度も書きましたが、ウォールナットの次に人気が出てきそうな樹種はブラックチェリーだと小生は考えています。

しかしこの樹種の最高の産地はペンシルバニア州とニューヨーク州です。この二つの産地と他の産地の材の違いの情報を正しく発信している業者は少ないと思います。小生はウイスコンシン州産とペンシルバニア州産をアメリカから直輸入していますが、以前はバージニア州産を扱っていました。バージニア州産とウイスコンシン州産の比較では同程度の木質ですが、ペンシルバニア州産と比較すると全く違います。

ブラックチェリー材にはガムと呼ばれる特徴があります。この特徴はこの樹種独特です。他のオーク等には無い特徴です。時間が経つと、自然に見えにくくなる面白い特徴でも有ります。しかし最高の産地と他の産地全体の原木を比較すると優良な産地のブラックチェリー材はガムが少ない事が解ります。そして価格差は凄く有ります。下の写真は左がペンシルバニア、右がウイスコンシンです。少し黒く見えるのがガムと呼ば



ばれる特徴です。

この違いを皆様に見ていただく意義を下記のように考えています。

衣食住の中で衣と食は原産地表示を消費者の皆様は、大変気にしています。特に食は、加工品まで原産地表示が義務化されるようになってきました。また衣も糸の産地は日本、デザインも日本製、織っているのはバングラディッシュ等の表示がされつつ有ります。この流れは国の情報公開と同じような事だと

服部商店は考えています。

服部商店の会社の方針は、売れる物を作るのが仕事では有りません。消費者から望まれる物を作るのが仕事です。森林資源を外国に依存し続ける状況は変わりません。そういう環境に有って無垢を使って頂ける環境が減って縮小する業界は仕方がないと思いますが、真実を全てオープンにして正しい無垢材とは何か。本当に必要な流通とは何か等、材木屋にとって頭の痛いことを含む全ての事を知っていただいて、材木屋の将来像を描けないかと模索しています。

100年先に服部商店が存在するなんて考えていません。小生の考え方が間違っていないのなら、何らかの形で小生の心を引き継いでいただける業界で有れば嬉しいと思っていますだけです。

FAX 072-422-8577・info@hattoriwood.co.jp



アンケート

- 1、 9月 23日と24日の午前10時から時間を15分程度取ってインタビュー形式のトーク『司会は服部商店の女性スタッフ、インタビュー受けるのは、小生と工場長の2人』を是非聞きたい。

はい

いいえ

- 2、 はいの方に御願います。どちらかに印を付けて下さい。

23日

24日

* 9月23日と24日二日間にホワイトオーク・ブラックチェリー材を購入して頂いた御客様（ネットの注文を含む）は10%価格をオフします。（支払い条件は10月31日までのご入金を願います。）

会社名	
担当者名	
連絡先電話番号	
ご住所	
メール又はFAX	

（株）服部商店

〒596-0011

大阪府岸和田市木材町16-1

T E L 072-438-0173・0511